

膠原病リウマチ痛風センターを受診中の患者様へ

2018年3月1日

急な話で誠に恐縮ですが、2018年5月1日から膠原病リウマチ痛風センターの外来を東京女子医科大学病院内に移転することになりました。

膠原病リウマチ痛風センターは、1982年に開設以来の35年間、東京女子医科大学病院とは別の医療施設として診療を行ってまいりましたが、今後は、東京女子医科大学病院の一部として診療することになります。

今回の移転、統合には以下の理由があり、それらを勘案の上、移転が決まりました。

1. 医療安全に関する社会の要請が強まり、現在の紙カルテを中心とした運営では患者様が安心できる医療の提供が難しくなったこと
2. 合併症をお持ちの患者様が増え、膠原病リウマチ痛風センターを受診したうえで東京女子医科大学病院の様々な診療科を受診される例が増えていること
3. 現在の施設が手狭になったことに加え、建物の老朽化も進んでいること

患者様におかれましては、以下のような変更点がございます。

1. 診察室の場所が変更になります。5月1日以降は、東京女子医科大学病院総合外来棟1階にある「膠原病リウマチ痛風センター」外来にて診療いたします。現在の膠原病リウマチ痛風センターから、道路を渡り、少し歩いていただいた所がございます。
2. 新しい診察券を発行いたします。今までと診察券番号が変わりますが、現在通院中の方からは初診料はいただきません。
3. 採血は総合外来棟地下1階、点滴は第1病棟3階、リハビリは第1病棟1階などで行いますが、詳細は、改めてご案内いたします。
4. 診療情報を電子カルテにて入力いたしますので、現在より診察に時間がかかります。待ち時間も長くなる可能性がございます。
5. 現在までの診療の記録は継承いたしますが、担当医、診察曜日が変更になる可能性がございます。
6. 投薬、注射や点滴は、原則として現状通りですが、細部で変更になる場合がございます。
7. 受付は自動再来受付機、会計は自動精算機で行いますので、現在より円滑に行うことができます。
8. 他の診療科受診時に、受診内容や検査データなどの共有ができます。
9. MRI、エコーをはじめ、各種検査予約が、現在より円滑に行うことができます。
10. 入院の手続き、退院後の手続きなどが、現在より円滑に行うことができます。

なお、東京女子医科大学病院では、患者様の誤認防止のため、本人確認が厳密に行われており、何度もご氏名と生年月日をおっしゃっていただくことになっております。お手数をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

膠原病リウマチ痛風センターでは、狭いスペースの中で受け付け、検査、診療などを行ってきました。ご不便をかけながらも、それがメリットでもあったのですが、これからは大きな東京女子医大病院の中の、各部署で受け付け、検査、診療などを行っていただくこととなります。

最初は戸惑われると思いますので、職員を配置してできる限り説明、案内をさせていただきます。また、少しお時間をいただくかもしれませんが、従来よりも良質な医療を提供できる体制づくりをお約束させていただきます。

急な決定であり、事前にお知らせができなかったことを誠に申し訳なく思っております。患者様におかれましては、上記の理由をご理解いただき、何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

2018年3月1日

東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター
所長 山中 寿

